

みんなで進めるまちづくり研修

【合同研修】

～住民の意見の体系化（KIT-PT法）～

目的	「まちづくりのシナリオ」である政策について学習する中で、重要な課題の先取りと民意を反映するための能力の向上を図る。					
内容	これからのまちづくりに必要な、政策形成能力を実習を通じて養うとともに、政策のプライオリティ化（優先順位付）の一つの手段である、KIT-PT法を体験学習する。					
実施月日 (年: 4月～12月・2019年、 1月～3月・2020年)	10月31日(木)～11月1日(金) 2日間	定員	42名(市町村職員24名 県職員18名)			
対象者	(県) 中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員 (市町村) 係長級以下の職員					
実施場所	大分県自治人材育成センター					
推薦期限(区分)	9月13日(金)	《第13回》	推薦書	推薦書 3	経費内訳	経費内訳表③
指定ホテル等	コモドホテル		その他留意事項	意見交換会実施		
研修講師 (講師プロフィール)	<p>【有限会社あしコミュニティ研究所 代表取締役 浦野秀一 氏(うらの ひでかず)】</p> <p>1969年 早稲田大学第一法学部卒業・埼玉県川口市役所入所。 職員研修、人事、議会、広報、企画などを担当するかたわら、全国各地の地域振興の取組みを訪問調査。 1971年 ネパール王国訪問。以来、「東洋的なまちづくりの手法」を知り、全国各地のまちづくりに活かしている。 1985年～1988年 (財)埼玉総合研究機構へ出向・主任研究員 1992年 川口市役所退職・(有)あしコミュニティ研究所設立。</p> <p><主な著書> 自治体政策のつくり方(学陽書房)</p>					
受講者の声	<p>ユーモアたっぷりの講師は内容がよく頭に入った。</p> <p>自治体職員として勤務されていたこともあり、実体験に基づく説明や解説はとても分かり易かった。</p> <p>今回の研修で、どのようにして政策がつけられているかが分かり、自分の能力向上につながったと思う。</p> <p>グループワーク等、体験しながら「政策」や今の地方自治体のあり方などを学ぶことができ、有意義な時間となった</p> <p>行政に寄せられる個々の要望と、住民のニーズとの違いについての説明がとてもわかりやすく、自分の仕事につなげていくイメージがつかみやすかった。</p>					
備考						

時間割

	8:50	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:30
		20	30							30	
1日目	受付	オリエンテーション	1. 政策能力とは何か ～まちづくりとは 2. なぜ、今、 政策能力が求められるのか 3. 政策形成の実習(1) 例題「空き店舗の活用策」 例題「企業誘致を進めるには」 例題「若者定住促進をどう進めるか」 etc	昼食			4. グループ発表、質疑応答 5. 講評 6. 政策形成の実習(2) 「これからのまちづくりはどうあるべきか」 ・ブレインストーミング ・カードづくり				意見交換会
2日目	受付		7. 政策形成の実習(続き) ・住民の意見を政策に反映させる手法 =KIT-PT法=の体験学習	昼食			8. グループ発表と質疑応答 9. 講評 コメント 10. 足元の地域資源を 個性あるまちづくりに生かすには 11. 政策形成能力をどう高めるか		アンケート・閉講		
		15			15	15				15	30
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。